



舟渡小☆コミュニティ・スクールいっしょだより

令和6年度 第1号
板橋区立舟渡小学校
校長 梶田 佳江
記録 地域コーディネーター
高橋 慶太
令和6年4月30日

第1回 板橋区コミュニティ・スクール（iCS）委員会 ご報告

令和6年度 第1回コミュニティ・スクール委員会を以下のとおり開催いたしました。

今年度より、新たに志村第五中学校校長になられた溝口校長先生と、志村橋保育園園長になられた中江先生をお迎えしました。そして、iCS委員長は引き続き山崎英司様に引き受けていただき、下記のメンバーで子どもの学びを豊かにする取組を進めてまいります。



最初となる今回は教員の皆様にもご参加いただき、低・中・高学年の3つのグループに分かれて熟議を行いました。

開催日時：令和6年4月18日（木）
15：00～16：30

場所：舟渡小学校 図書室

次第： 司会 山崎 洋子 様

- (1) 校長あいさつ
- (2) 委員長選出、新メンバー及びオブザーバー紹介
- (3) iCS委員長あいさつ
- (4) 令和6年度 学校経営方針、主な行事について
- (5) iCS委員、オブザーバー、教職員自己紹介
- (6) 熟議『地域をテーマとした学習の更なる可能性について』
- (7) 委員の皆様より

令和6年度 iCS委員の皆様です！

よろしくお願いいたします。（◎委員長）

- ◎山崎英司 様（iCS委員長）
- 植草正勝 様（舟渡町会会長）
- 森 剛 様（青少年健全育成地区委員長）
- 山崎洋子 様（地域コーディネーター）
- 植草真理子様（学校支援ボランティア）
- 宇津木忠 様（ケアポート板橋施設長）
- 太田幸一 様（舟渡小学校あいキッズ責任者）
- 栗原由紀江様（（株）オープラス プロデューサー）
- 高橋慶太 様（前PTA会長）
- 塚本原野 様（PTA会長）
- 溝口千里 様（志村第五中学校校長）
- 中江有里 様（志村橋保育園園長）
- 神木啓之 様（舟渡地域センター所長）

《オブザーバーの皆様です》

- 安藤吉高 様（元校長、地域コーディネーター）
- 本間信治 様（元校長）
- 江藤睦実 様（地域コーディネーター）
- 山下真由美様（はあもにい保育園園長）
- 上田雅一 様（元PTA会長）
- 峯岸伸治 様（元PTA会長）

熟議『地域をテーマとした学習とその可能性』より

昨年度まで実施してきた地域学習に加え、新しい学習の可能性はあるか、またすぐ実践できることは何かを議論しました。各グループともに予定時間を超えて意見が出されました。

《低学年グループ》

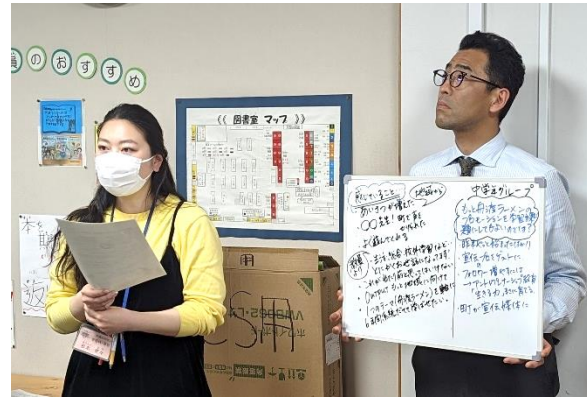
手厚いサポートをしてくださるこの地域を巻き込んで学習をしたい。卒業生をゲストティーチャーにし、昔の舟渡を知る、学校に来て演奏してくださる人材を探すなど。学習は学年でつなげていきたい。そのために系統立てた指導が大事になる。

《中学年グループ》

「町や舟渡ラーメンをプロモーションする」を学習課題にしてはどうか。宣伝のプロをゲストに呼ぶ、宣伝用SNSのフォローを増やす施策を考えるなど、アントレプレナーシップ教育（解決策を見だし立ち向かう姿勢を養う）ができれば面白い。

《高学年グループ》

舟渡を知り、板橋区を知り、東京・全国へと見識を広げる教育をめざす。地域学習では水害やたばこポイ捨ての多さなど、舟渡に特化した問題に取り組んでいく。また、舟渡ラーメンを通じ地域の方々の想い、歴史や廃棄問題も学ばせていきたい。子どもたちをいかにやる気にさせるかを大事にして考えていく。



学校長より『学校経営方針』について

教育目標は変わりません。児童一人ひとりが未来を創り上げていくために必要な資質・能力の育成です。

教育活動におけるキーワードは教職員、児童ともに『すすんで』となります。よりよく変えていくために自らが動きましょう、そのためにアイデアをどんどん出してほしいと教職員、児童に伝えています。

校長室前に意見ポストがありますが、今年度、児童からすでに4件の「これをやりたい！」が投函されました。本人を呼び、実現可能なものは自ら動くことを促します。また、難しいものはきちんと理由を述べて理解を得ます。いずれも次につなげる気持ちを見守っていきます。

次回の予定

次回の開催は、右記のとおり予定をしています。

第2回は土曜授業プランにおいて、全学級の道徳の授業を参観後に熟議を行います。ご興味・ご関心のある方は、事前に舟渡小副校長までご連絡ください。

